

平成 29 年度 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業  
(アフリカにおける顧みられない熱帯病 (NTDs) 対策のための国際共同研究プログラム)  
中間評価  
課題評価委員会における評価コメント

- |             |   |
|-------------|---|
| 1. 研究開発課題名  | アフリカの NTD 対策に資する大陸的監視網に向けたイノベーティブ・ネットワークの構築：一括・同時診断技術を基軸とした展開 |
| 2. 研究開発機関名  | 長崎大学  |
| 3. 研究開発代表者名 | 金子 聡  |

NTDs の複数の疾患を一括で診断するための抗原レパートリーの選択が進んでいることは評価できる。また、衛星を利用した革新的なサーベイランスにより、その罹患率や地理的分布を疾患・国ごとに調査することは、アフリカ各国の公衆衛生対策担当者が介入すべき地域を検討する上で有用な情報となることが期待できる。また、WHO との連携に向けて開催した UHC フォーラムサイドイベントで日本の研究者の活動をアピールしたことは優れた取組として、さらに計画を具体化して実施することを期待する。

ケニアでの調査は着実な成果が上がってきているが、一方において、エジプト、コンゴ民主共和国、ナイジェリアでの調査は、法令等の制限により当初計画より遅れており、各国の状況に合わせた展開が必要である。また、診断キットの開発では、その診断系の最適化について、5 種類の病原体について検査特性を評価するのに十分な臨床検体を確保が必要である。今後、開発した診断キットを恒常的に利用できる道筋も含めて、研究計画を立てることを期待する。